

道路  
愛護

## 講演と映畫の夕

### 福岡縣土木部長

#### はしがき

道路改良第一卷第一號が表紙に都會風景を刷込んだ小ぼけなパンフレットの様な姿で各府縣に頒布される迄の道路は、荷馬車と自動車の單なる交通をはかるを目的として改良されてきたが、自動車の發達と改良會の啓蒙運動は、否應なしに道路改良熱を煽立て、各府縣は擧つて老大なる道路費を豫算に計上し、正に道路改良オンパレードである。況や西日本産業の中樞として異常の發展を示したる本縣に於ては、二層深刻に改良運動が行はれ明治四十一年迄は、一年間五萬圓程度の道路改築費は、大正十一年から十五年迄の間には、六十萬圓乃至八十萬圓に増額し、昭和三年以

降は毎年一躍二百萬圓から四百萬圓を突破するに至つた。會つて本縣知事たりし松本警保局長は、北九州が今日期の如き大發展をなしたるは、地勢のみに因るのではない、福岡縣人特有の進取の氣象が、加速度的發展を招致せりと斷じられたが以上改築費の増加系數に鑑みても如何に縣民が道路に對する理解が早く且「斷行の意氣」に燃えてゐるかゞ視はれるではないか。本縣は此の意氣で年間十二萬米の改築工事を完成しつゝ時代の進展に一歩を抜出んとしてゐる、然し單なる改築工事では權兵衛の種播きと同じで、後からく自動車の爲に路面を掘られる、然ればとて當初から根本的改良工事を施し、路面の鋪裝迄完成して置けば、維持費も少なからうけれど、幅員擴張急カーブの剪除

等すら完成せぬ今日、地方道路の舗装などは容易に實施が出來ない。

道路工夫は依然として約十二料の距離を受け持つてゐるが、そんなことで今日の道路は完全な維持は困難である。財力に餘裕のない切羽詰つた今日に於ては、地方民の助勢を俟つて路面を維持してゆく外なくなつて終つた爲め、茲に大々的に愛護運動を起すに至つたのである。

### プログラムの編成

道路愛護運動も改良運動と同時に起されたのであるからその沿革を尋ねれば、十數年前に遡るけれど、其の實行は極めて間歇的で、青年團や消防團等が偶々道路の整理作業を試みたところが餘り効果がない、もつと深刻に組織的な恒久性のある愛護運動の必要に差迫られ、先づ第一に啓蒙運動として農閑期たる二月三月の二ヶ月に亘り全縣下に、道路愛護宣傳の講演と映畫の會を催すに至つた、然し政談演説や興行映畫と異り此の種の會合に如何にして農村の中

堅人物を集むるかに就いては最も苦心した、殊に近頃は、納稅宣傳映畫或は衛生思想普及映畫等々、農村の人々にも此の種映畫は食傷してゐるので、單なる講演と映畫の會だけでは、人を集めることが出來ないので、今回はもつと民衆的な娯樂氣分を多分に盛込み、且新しい感覺を織交せることを考慮しプログラムを編成した。

### 開催期及入場者數

期	日	主	催	者	會	場	入場者	
三月一日	門	司	市	市	集	會	九〇人	
二日	小	倉	市	西	小倉	小學校	二五〇	
三日	八	幡	市	製	鐵所	教習所	三、五〇〇	
五日	若	松	市	市	公	會	二、五〇〇	
六日	福	岡	市	市	紀	念館	一、一〇〇	
七日	飯	塚	市	市	公	會	二、五〇〇	
八日	鞍	手	郡	小竹	町	勝野	小學校	八五〇
九日	直	方	市	市	公	會	三、〇〇〇	
一〇日	鞍	手	郡、若	宮、吉	福	丸	座	二、六〇〇
一一日	川	中	村、山	口	村	植	木小學校	六五〇

一二日	〃	木屋瀬町	木屋瀬小學校	一四〇〇	二〇日	〃	豐津村	京都實業女學校	八〇〇
一三日	三井郡北野町	北野小學校	一五六〇	二一日	〃	黒田村	公會	二二〇〇	
一四日	大牟田市	中座	二五〇〇	二二日	築上郡推田町	推田小學校	一三〇〇		
二月一日	企救郡中谷村	山本小學校	一五〇〇	二三日	〃	葛城村	葛城小學校	一八五〇	
二日	〃	東谷村	新道寺小學校	九五〇	二四日	〃	山田村	山田小學校	一三〇〇
三日	〃	西谷村	長行小學校	六五〇	二五日	〃	南吉富村	南吉富小學校	一七〇
四日	〃	松ヶ江村	島小學校	九六〇	二六日	〃	西吉富村	西吉富小學校	一三〇〇
五日	〃	企救町	淺野紀念館	九七〇	二七日	〃	八屋町	寶榮館	一五〇〇
六日	〃	會規村	驛前劇場	二五〇〇	二八日	〃	河合村	河合小學校	一四〇〇
七日	戸畑市	市公會堂	三五〇〇	三月一日	〃	横武村	横武小學校	一六〇〇	
八日	遠賀郡中間町	公會堂	二五〇〇	二日	京都郡樺市村	公會堂	二二〇〇		
九日	〃	香月町	楠橋小學校	一八〇〇	四日	〃	八女郡福島町	公會堂	二二〇〇
一〇日	〃	遠賀村	島門小學校	一五〇〇	五日	〃	黒木町	黒木小學校	一五〇〇
一一日	〃	芦屋町	大國座	二〇〇〇	六日	〃	星野村	星野小學校	一三〇〇
一二日	〃	岡垣村	吉木小學校	二〇〇〇	七日	〃	羽犬塚町	羽犬塚小學校	一三〇〇
一三日	田川郡金田町	敷島館	九六〇	八日	〃	三潞郡城島町	城島小學校	二〇〇〇	
一五日	〃	伊田町	田川高等實業女學校	二〇〇〇	九日	〃	大川町	旭東座	二二五〇
一六日	〃	香春町	香原町假劇場	二〇〇〇	一一日	〃	山門郡瀬高町	瀬高小學校	二〇〇〇
一七日	〃	後藤寺町	奈良小學校	三三〇〇	一二日	〃	柳河町	柳河劇場	二二七〇
一八日	〃	添田町	大正座	二二六〇	一三日	〃	三池郡三池町	三池小學校	一四〇〇
一九日	京都郡行橋町	公會堂	二二〇〇	一四日	〃	糸島郡前原町	公會堂	九七〇	

一五日	粕屋郡志免村	末	廣	座	三、〇〇〇
一六日	久原村	野	外	撮影	一、六〇〇
一七日	席内村	席内	小學校		一、三〇〇
一八日	宗像郡福岡町	福岡	小學校		一、五〇〇
一九日	赤間町	赤間	小學校		一、八〇〇
二〇日	神湊町	野	外	撮影	一、五〇〇

### 計畫要領

主催 地元市役所又は町村役場

後援 福岡縣廳

講演 土木部員及地元町村長、警察部員

映畫提供 交通知識普及會、有坂錦太郎

經費 一ヶ所 三十圓乃至五十圓 主催者負擔とす

### 講演の内容

「人は修養、家庭は規律、文化施設は道路から」道路と借金の穴だらけは、一日も早く埋めよ」と言つた標語や注意事項指示事項を並べたてゝ實行を要求する様なことは映畫

と廣告の方に委せ、講演は道路に對する知識の普及と言ふことを目標とし、道路の構造道路費の豫算からその重要性を説き、アメリカが建艦計畫を進めてゐる半面に、全洲の道路鋪裝計畫を實行し國力の充實を計つてゐるが、日本には地方道路迄鋪裝する財力がない、伸びる日本の力と脈の道路は、國民が擧つて愛護し砂利道ではあるけれども鋪裝道と同じ働をする様に、守らなければならないと言ふような愛國熱を鼓吹した。ある村では有志の飛入り演説があつて、滿洲は國民全部の生命線であるが、我が村の産業興廢の生命線は道路であるなどと、道路愛護を高唱されたのは愉快だつた、又講演と映畫の合間に、子供の為めのお伽噺などを試み、和やかな團欒氣分を漂はして地方民と親んだ。

### 映畫

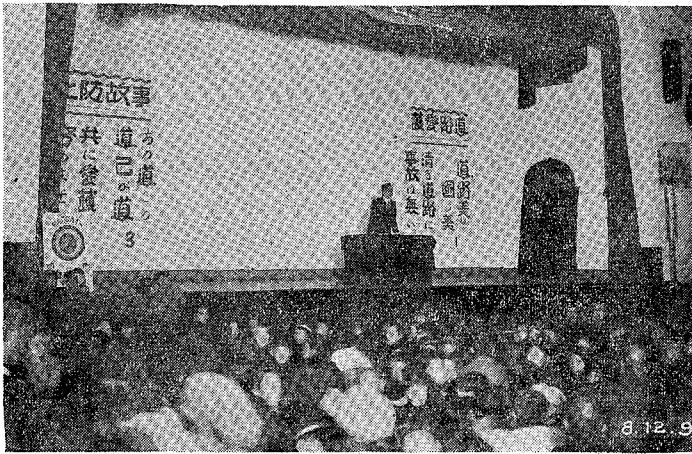
道路愛護の映畫といふと、誰しもあの面白くない映畫かと、顧みて呉れない、いづれ無料なものに祿なものがない

と言ふのが、一般の觀念であるけれど、同じ品物でも手料理の如何で美味くなる、提供された映畫を如何に大衆的な娛樂として活用するかに着目し、宣傳ビラは勿論であつたが、夫より今回は會場を朗かにし娛樂氣分を漂せることに努め、レコード演奏或は萬國旗、モーター等を以つて裝飾を施し、宛然農村民の慰安會の様なものになすべく努力した。

### 映畫プログラム

- 一、南京町 漫 畫
- 二、講 演 町村長又ハ警察部員
- 三、東京見物 實 寫
- 四、講 演 土木部員
- 五、地方道路愛護作業實況 實 寫

紹介



六、骸骨踊

漫 畫

七、映畫劇 眞心橋

八、彌次喜太の旅 交通道德漫畫

九、軍事映畫 空閑少佐

一〇、其他

右プログラムの内、東京見物では理想的な東京の鋪装道路見學が出来、愛護作業實況は毎年秋季本縣下に於て行はるゝ愛護日の實況を偲ばしむる爲に、農村に於ては最も親み深い映畫として歓迎せられた、眞心橋は六人の少年が、こわれた橋を修繕する映畫劇であるが、總て農村を背景とせる實際問題を映寫せられたものである爲め、感興も深かつた、

鼓吹し、道路の映畫でも面白いと言ふ印象を與へたこと

は、目的の大半を達したと思ふ。

### 熱と力

今回の講

演と映畫の

會は、前表

に示す如く

縣下を通じ

六十ヶ所に

及び、其の

日數は六十

餘日に亘つ

たが、福岡

日日、九州

日報、大阪

毎日、大阪朝日新聞等の大新聞が、數回特別記事を掲げ愛



映畫で舗装道路を見學

護運動を紹介し、民衆を啓發して下されたことは、感謝し

てやまな

い次第で

ある。實

際の聽衆

は、十一

萬餘にし

か達しな

かつたが

新聞を通

じての宣

傳は一般

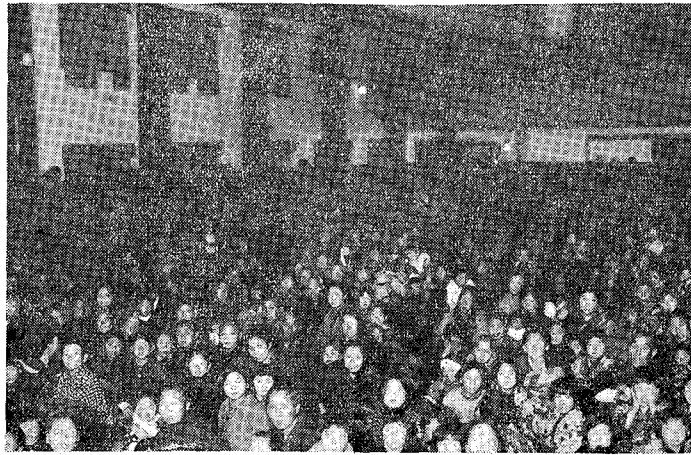
に行亘つ

て居るか

ら、相當

効果があ

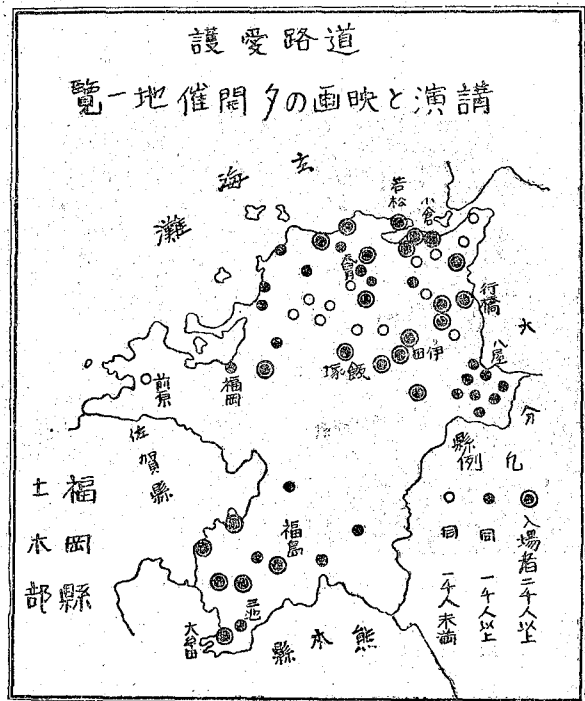
つたことと思ふ。經費は總て主催者たる町村に於て負擔



富久壽の觀衆

し、一ヶ所當り映畫の方が三十圓乃至二十五圓、電氣料約五圓、會場は主に公會堂、學校、講堂等を使用したから、その方面の費用は要らなかつたけれど、諸雜費を合せ僅々五十圓内外ですんだ。

今回は特別の場所以外は、講演其他全部管區勤務者に委せたから、之が爲め縣としては経費は支出してない、つまり愛護宣傳のため愛護事業費として地元町村が、總経費約三千圓程度を奉仕したのである、而して來る秋には、この約十數倍の維持費を支出した以上の効果を、奉仕作業に求めんとするものである。



開催箇所の一覽圖を観るに、縣の中央、大分縣寄りの山部は殆ど開催されてなく、工業都市小倉、八幡方面、筑豊炭田地方に主力が注が

れてゐるのは、追に同地方の人士の新興の意氣を表象するものではないか、殊に小倉管區内は甲の村でやつて俺の村をオミットされては困るといふ熱心ぶりなので、町村の數も少なかつたので全部開催することにした。

土木の現業員は常に多忙で日曜も祭日もないに拘らず係員の如きは、晝は現場監督、夕暗迫れば服を着換へて、會場へ向ふといふ有様で殆ど休養の暇がなかつた。就職難の今日土木の技

術者として生くることの出来るのは、道路あるが爲めとい

員、會場に充てられた小學校の講堂には萬國旗を飾り慰安會を兼

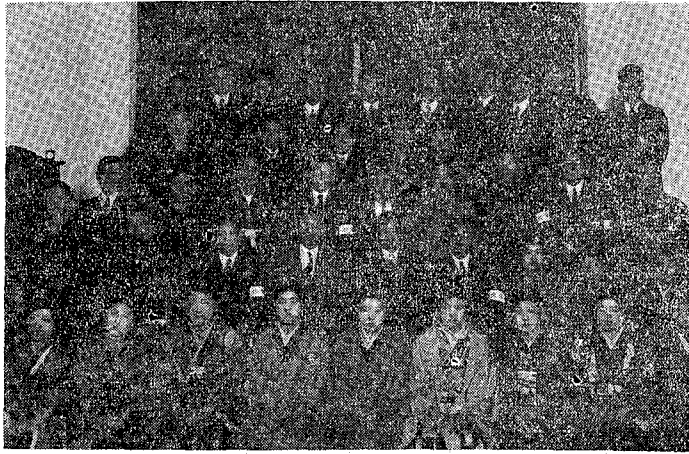
ふ一種の信仰的觀念を以て、愛護運動に熱中した、こうした熱誠に動かされて、主催者の方でも簡單ではあつたが、夕食の準備をし一行を構ひ又自動車營業者は深夜の田舎道を態々映畫班の一行を送迎し勞苦を忘れて、愛護運動の助勢をして下されたことは、感謝する次第である。

各地に於ける講演と映畫の夕の状況を挿話として、左に御紹介しよう。

### 漫 錄 六 つ

#### 飛 入 演 説

講演と映畫の會のトップを切つた中谷村では、祝日であつた爲か村會議員、區長等は勿論小學校の職員も總出動といふ盛況、接待係は、處女會



場へ一任といふことで用地買収問題解決は有坂氏に功を譲らざる

#### 各 種 團 體 選 拔 され たい 係 員

ねて、手辨當持參者もあるといふ熱心さである、二合瓶までころがつてゐる始末だからメートルが上らぬ管がない、映畫の合間に悠々演壇を占領して、政談演説振りで道路愛護の獅子吼には、土木部員の方が顔負けしてしまつた。

#### 用地買収問題解消

これも亦中谷村のことであるが、映畫會の當夜には、特に用地買収係員の臨席を申請してきた一部の地主が、強硬に買収價格の増額を要求して、村民待望の府縣道改築工事も起工されないの、村役場員が氣をきかして村民慰安會として招待狀を地主に送つた處、得意満面やつてきた地主連三時間あまり講演や映畫で満場道路愛護を滿喫し日頃強硬に頑張つた手前、今更安々と承諾の表明も出來ず立去らんとするところをつかまへて、村役



を得ない。

## 招待状の効目

企救郡會根村では、ピラをやめて村長さんから、千二百通の招待状を發した。人口一萬五千、最近町制をしいた會根は、三號國道の沿道、農村ではあるが石灰石、花崗石の産地、最近陸軍の火藥廠が出来たりして、發展途上にある位だから、他町村より純朴さも缺けてゐる、街頭に散らばつたピラを拾つて無料公開の活動寫眞などを見物に寄せて來る氣配などなかつたが、尋常四年以下の子供同伴お斷りといふ前ぶれと招待券が効を奏して、定刻前會場に充てられた富久壽座は、滿員締切といふ盛況を呈し、政談演説でもこんなに混合つたことがないと、下足番のみがブス／＼言つてゐた。

## 村長さんの熱辯

縣下の町村長は、大抵雜誌道路の改良を購讀してゐるので、いつ知らぬ間に道路に對する知識を吸收し、その述べる所を傾聽すると、參列してゐる土木部員の方が、教へられる様なことが度々あつた。殊に西谷村の老村長村上氏が、日頃の沈黙に似合はず、堂々熱辯を振つて吾が村の道路と題して述べられた長演説は天晴だつた、同村は名にし負ふ貧弱村、小學校にも講堂がない、會場は

二三の教室を開放し觀衆は板張の上にお座り、宵のうちから時雨てゐた空からは、雪が降り出し寒いこの夥しい、螢火程の火鉢一つ來賓席にあつたゞけではあるが、村長さんの熱辯と觀衆の氣息が、スチームの代用になつた。

## 音樂部の活躍

新興都市北九州の中央に屯する新時代のシビルエンジニアである埃まみれの被れ自轉車で道路工夫を迫ひ廻したり、徐に恩給年限を計算するような退嬰の氣分では、新興都市の道路建設は不能である、明るく朗に生きよといふモットーのもとに、日頃から音樂部を組織してあつたが、幸ひ今回の道路愛護運動には第一線に立つて思ふ存分活躍することが出來た、音樂とは名のみ安つばい流行歌やカフエーまがひのジャズで大向の喝采を求める様な低級趣味で工人の顔汚しをしない組織ある統制のとれた團體として、藝術的高い曲目を四部曲に編成し、餘興として農村民によき音樂のもつ韻律のゆかしさを訴へた杯と文部省の音樂週間そつらのけの大した鼻息で、都市美協會藏版の道路の歌も演奏した。

## 道路の歌に就て

道路の歌は、斯界の權威者堀内敬三氏の作詞作曲、ビクター會社のレコードにも「緑の並木」と題して吹込まれてあるが、女聲

のキイ／＼聲よりも、莊重な男聲の方がしつくりするので、マン

ドリンの助奏、ギター伴奏によりタイトルで、歌詞を映寫して音楽部員が合唱した。

外國のある知名の士からバケツを贈られた東京市は、發奮して遂に道路の根本的改良といふ大事業を敢行し面目一新した、道路の歌は實に市民が鋪裝された美しい道路を、讃へる聲である旨を述べ、東京市道路實況映寫の合間に、合唱したが、歌調は、調四調子追に輕快な垢抜けのしたもので、誰にもすぐ覺えられるので歓迎せられた。

### 道路の歌

- 一、樂しく明るく踏む足かるく  
歩めきれいな我等の路を  
連る並木に綠は萌えて  
塵も止めず輝く歩道
- 二、榮える御國の文化のしるし  
廣い立派な我等の路よ

走る車も行き交ふ人も



音楽部の陣容

樂に愉快にならんで通る

三、此の路わが路市民の路よ

護れよごすなきれな姿

伸びゆく日本の力と脈の

路をみんな育てよゆかふ

### 第二次愛護運動

に就て

第二次愛護運動は、愛護作業實施日を卜し、秋季に於て縣下一齊に行ふ豫定である、前年の例に鑑み今期は作業指導に、専ら力を注ぎ前日迄に道路工夫をして、各大字に修理のサンプルを造り、之に倣はせて作業能率を増進せしめ、最小限一ヶ村約二〇〇人の出役により、全縣下を通じ六萬人以上を動員し、補修作業を行ふ豫定であるが、年

一回の沿道民の助勢では、現形維持は困難であるから、如何にしても、常住不斷の愛護運動を必要とする。殊に鋪装工事を施行した市街地に於ける路面掃除は、一朝一夕に實施されない、一面無理からぬことは、北九州の如きは、村から大都會への急激なる發展であり、道路の如きも近年俄に、全線鋪装されたばかりなので、鋪装前の玉石交りの不整形な路面時代の考が去らず、鋪装面に毎日新しい馬糞の花が咲かうが、悪臭が發さうが、北九州の名物は咳痰（石炭）であると飛んでもない駄洒落を飛ばして顧る人が少なかつたけれど、最近漸く目醒め衛生組合聯合會、或は主婦會等が、活動し始めたことは欣快至極である。就中小倉地方に於て土木管區員の戸別訪問式愛護運動に依り、昭和の二宮金次郎が二三人現はれて、奉仕作業の先驅となり、防禦組合、或は道路美化組合等々が組織せられ、その熱と力とは火となり、門司福岡等へもそうした機運を醸成しつゝあることは稿を改めて、御紹介したいと思ふ。

鰻の年齢を鑑別する法がある夫れは堀家堺市水族館長の談によると「粟粒ほどの鰻の鱗を擴大鏡で覗きますと、ここに樹木の年輪とよく似た白輪が生じてゐます。この白輪は生後四年で初めて生じ年々一輪を増して行きますから、二つの白輪があれば五歳、四つあれば七歳、八つあれば十一歳といふことになります、七歳乃至十二歳が成魚期である。此談によると鰻らしい鰻は十歳内外からである、人間の白髮の割合や禿の程度では其年齢は知り得ない、戸藉がなかつたなら人間の年齢は不明か、人間らしくなるのは何歳からか、近説によると人間は四十歳からとも云はるるが此説では四十歳からが人間らしい人間であるとするべきである。人間の体内分泌器官に依つて分泌し生長其他の生理的作用を調理するホルモン夫れは四十歳から漸次其分泌量を減じ行くのではなからうか、動物生理上で此分泌液の研究がどうなつておるのか。植物の生長素ホルモンの研究すら聊か明瞭に進んだのに人間四十歳からの説と生長の要素ホルモンとの關係の如何かが人間社會の一大問題であらねばならぬ。